

病児保育室「あんず」のチョットアノネ

No. 78 (2023. 11. 20.)

テーマ: インフルエンザ感染対策

2か月早く始まったインフルエンザ流行

今シーズンは例年と比較して2か月も早くインフルエンザの流行が始まり、小学校などで学級閉鎖が行われています。厚生労働省が発表しておりますインフルエンザの感染対策について以下に示します。

インフルエンザの基本的感染対策

(1) マスクの着用

医療機関の受診や高齢者施設の訪問時はマスク着用が推奨されます。重症化の危険性が高い人が混雑した場所へ行くときも自身を守るための対策としてマスク着用が有効です。小さい子どもでは呼吸の妨げにならない様な配慮は大切です。咳や痰などの症状がある場合には他人への感染を防ぐために「咳エチケット」を心がけることが重要です。咳エチケット用のマスクは、薬局やコンビニで市販されている不織布(ふしょくふ)製マスクが推奨されます。

(2) 手洗い等の手指衛生と換気

新型コロナウイルス感染症の感染予防に有効なようにインフルエンザにも感染対策として有効です。

(3) 人と人との距離の確保等

流行期において重症化する危険性の高い人は、換気の悪い場所や、不特定多数の人がいるような混雑して場所、近接した会話は避けることが感染防止として有効です。(避けられない場合はマスクの着用が有効)

② 咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

(4) インフルエンザ予防接種

発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。

現在流行している病気は何ですか？

宮城県内では：第1位 インフルエンザ、第2位 新型コロナ、第3位 感染性胃腸炎
亘理郡内では：第1位 インフルエンザ、第2位 溶連菌感染症、第3位 感染性胃腸炎

大友医院病児保育室「あんず」より

新型コロナウイルス感染症は非常に少なくなりましたが、インフルエンザの方は増加してきております。インフルエンザの基本的な感染防止対策に気をつけながら、栄養と休息ををきちんと取り、インフルエンザにかからないようにしましょう。インフルエンザの予防接種も早めに受けましょう。溶連菌感染症やプール熱も10年来の流行なので注意しましょう。



病児保育室「あんず」：電話 0223-35-6455